

「新学習指導要領に準拠した公益財団法人全国商業高等学校協会主催の各種検定試験等のあり方について」（答申）による検定内容の変更について

◎ 検定試験変更事項

- (1) 検定名称変更について
- (2) 4・5・6級については廃止
- (3) 伝票算廃止
- (4) 部門合格の有効回数の変更
- (5) 珠算用のフォントではなく，社会で使用される一般的なフォントの採用
- (6) A版実施
- (7) 合格率目安

3級	基礎レベル(入門級)	80%
2級	応用レベル	50%
1級	高度レベル	30%

改定のポイント

【令和2年度（140回検定より改訂）】

- (1) 「¥」マークを変更する
- (2) 「0」～「9」までのフォントを変更する

【令和3年度（142回検定より改訂）】

1. 4・5・6級は廃止する
2. 部門合格の有効回数を「5回」から「4回」に変更する
3. A版サイズでの実施予定を変更する → 144回検定より実施

【令和4年度（144回検定より改訂）】

1. 検定名称を「ビジネス計算実務検定試験」と名称変更する
2. 普通計算部門
 - (1) 試験問題をA版で実施する
 - (2) 試験範囲の変更
 - 1・2・3級の普通計算部門から伝票算を廃止する
 - ・珠算では乗算・除算で増問する
 - ・電卓では構成比率を増問する
 - (配点・採点箇所については検討中，構成比率については部分採点を予定している)
3. ビジネス計算部門（別表参照）
 - 3級
 - (1) 出題範囲の変更なし
 - (2) 合格率目安80%を達成するために各項目の出題を工夫する

2級

- (1) 複利終価・複利現価の計算を出題する（数表を用いた計算）
- (2) 減価償却費の計算を定額法に限り出題する（作表を含む）
- (3) 合格率目安50%を達成するために各項目の出題を工夫する

1級

- (1) 選択形式を廃止し全問解答形式とする（共通問題, 選択A, 選択B）
- (2) 選択Cの計算は出題しない（売買損益計算中が出題）
- (3) 合格率目安30%を達成するために各項目の出題を工夫する

4. サンプル問題について

令和2年度研究協議会でサンプル問題を配布する

- ・ 普通計算部門（1～3級）
- ・ ビジネス計算部門（1・2級）

◎ 競技大会変更事項

- (1) 珠算用のフォントではなく、社会で使用される一般的なフォントの採用
- (2) 大会出場枠
- (3) 表彰規定
- (4) A版実施
- (5) 大会名称
- (6) 種目別伝票算競技廃止

改定のポイント

【令和2年度（第67回大会より改訂）】

- (1) 使用フォントの変更 → 検定試験に同じ

【令和3年度（第68回大会より改訂）】

- (1) 出場枠 団体各都道府県1校計47校、個人は各都道府県2名（団体出場校と兼ねられない）
- (2) 表彰規定 団体：優勝校1校 準優勝校1校 第3位～10位各1校
個人：優勝1名 準優勝1名 第3位1名 優良賞7名 佳良賞20名

※昨年の研究協議会で発表され、全商HPに掲載されているとおり

ただし、①優良賞の7名についてを等位とするかは今後検討

②種目別競技の表彰規定について今後検討

- (3) 用紙をA版とする
- (4) 大会名称を「全国高等学校ビジネス計算競技大会」と名称変更する。
- (5) 種目別競技伝票算を廃止する

◎ 円記号の変更について（令和2年度より）

「」 → 「」